

卵管の詰まりをなくせば自然妊娠しやすくなる

静岡厚生病院(静岡市)が取り組むのが、卵管鏡下卵管形成術(FIT)と呼ばれる手術だ。不妊に悩む夫婦に、体外受精だけでは不十分な選択肢を提供しようと日夜、チーム医療の技術向上に励む。

FITはカテーテルを膈(ちつ)から挿入し、バルーンを卵管の奥に進めて詰まった部分を広げる手術だ。カメラで卵管の状況を確認しながら施術していく。全身麻酔し、早ければ1時間から1時間半で手術は終わる。

傷が小さいため術後の痛みや出血が少なく、状態にもよるが1週間弱で退院できるという。健康

不妊治療で自然妊娠を

静岡厚生病院がチーム医療

卵管手術の技術向上



保険や高額療養費制度の対象になるのも特長だ。効果は「永続的ではないが、半年から1年は持続する」(同院の鈴木崇公医師)という。

手術には多くの最新機器が必要だ

NIKKEI BUSINESS DAILY 日経産業新聞

不妊は継続的に性交し、1年たっても妊娠しない場合と定義され、10組に1組の夫婦が当てはまるとされる。男性要因と女性要因に分けられ、女性要因の中で20〜25%と最も多いのが卵管の問題だ。性感症や子宮内膜症など様々な原因によって、卵管が詰まったり、狭くなったりする。これにより、卵子と精子が出会えず、出会えたとすても受精卵が子宮にたどり着けない。

静岡厚生病院では15年4月、西原富次郎医師や不妊治療を手がける俵I V Fクリニック(静岡市、鏡はおよそ100万円するが、数回から10回ほどの手術で交換しなければならぬ。カテーテルも十数万円する。そもそも手術室の設置は一定以上の規模の施設でなければ現実的に困難だ。

不着けない。不妊の訴えがあると、医師は子宮卵管造影検査をする。卵管の詰まりが発見されるのはこのときだ。多くの医療機関は取り出した卵子と精子を体外で受精させて子宮に戻す体外受精を提案する。実際、日本産科婦人科学会によると、体外受精によって国内で生まれた子供の割合は2016年で18人に1人になる。ただ、体外受精は自然妊娠に比べ合併症のリスクが高いうえ、肉体的・精神的な負担が重い。保険適用外で多額の費用がかかり、断念する人も少なくない。FITは不妊に悩む夫婦に自然妊娠という選択肢をもたらすことができる。

掲載

静岡

静岡支局 054-2553-7191
浜松支局 053-4552-8693